

ヒトパピローマウイルス感染症(子宮頸がん)

★病気の説明

ヒトパピローマウイルス(HPV)は誰でも感染する可能性があるウイルスで、主に性行為によって感染します。感染してもほとんどの場合は自然に排除されますが、ウイルスが排除されずに長期間感染が続く場合、5~10年以上の年月を経て子宮頸がんを発症することがあります。HPVは、子宮頸がんのほかにも、外陰がん、膣がん、肛門がん、尖圭コンジローマ(性器や肛門周辺にできる鶏冠状のイボ)などの病気もひきおこします。子宮頸がんは検診で早期発見、早期治療が可能ながんですが、治療によって妊娠や出産ができなくなる可能性があります。

★使用するワクチン

- ・ 9価：シルガード

★予防接種の受け方

- ・ 接種対象年齢：小学6年生から高校1年生相当年齢の女子
(標準的な接種年齢：中学1年生)
- ・ 接種する回数と間隔

	標準的な接種期間	接種回数
初回接種が15歳未満	6か月あけて2回接種	2回接種
初回接種が15歳以上	2か月あけて2回目接種、1回目接種から6か月あけて3回目接種	3回接種

出典(病気の説明)：よぼうせつしゅのはなし(2025年)抜粋 日本ワクチン産業協会

